

受講生募集

平成30年度 災害ボランティア入門講座

近年、各地で災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。

本講座では、災害時の基礎知識や適切な支援活動に活かすことを目的とし、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えについて学び、地域で協力し支え合うことについて考えます。

さまざまな災害ボランティア活動をご紹介します、その中から「私にもできる活動」を見つけてもらい、いざという時の活動の準備をお手伝いします。

- と き: 平成30年8月28日(火) 13:00～16:30
- と ころ: 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5階 大セミナールーム(小倉北区大手町11番4号)
- 受 講 料: 無料
- 対 象: 災害ボランティアに興味のある方
- 定 員: 40名(申込みが定員を超えた場合は抽選とすることがあります。)
- 内 容: 講義1 知って安心、災害への備え.....

講師:北九州市 危機管理室

講義2 災害ボランティア活動の基礎知識 .....

講義3 助け上手と助けられ上手 .....

～災害ボランティア活動における支援力と受援力～

講師:北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課

申込方法: 8/17(金)までにお電話か申込用紙ご記入の上、郵送またはFAXでお送りください。  
※申込用紙は、ボランティア・市民活動センターホームページをご確認ください。  
お問合せ・お申込先:ボランティア・市民活動センター研修課(※火～土曜日)  
〒804-0067 戸畑区汐井町1-6 ウエルとばた3階 TEL881-6321 FAX881-6306



介護支援  
ボランティア  
登録研修会を  
開催します!

- 8月29日(水) 14:00～16:00  
場所:小倉南生涯学習センター 第1会議室(3F)
- 9月12日(水) 14:00～16:00  
場所:門司区役所 大会議室(3F)
- 10月18日(木) 14:00～16:00  
場所:小倉北区役所 504会議室(5F)

- 定 員:各30名
- 対象者:北九州市在住の65歳以上の方
- 参加費:無料 ※申込み:電話、FAX、郵便にて
- お問合せ・お申込み先/(※火～土曜日)  
ボランティア・市民活動センター 活動推進課  
〒804-0067 戸畑区汐井町1-6 ウエルとばた3階  
☎ 881-6500 FAX 881-9680

事業紹介

まちづくりゼミナール

ボランティア大学校では、校(地)区社協・まちづくり協議会役員等を対象として、より良いまちづくりをめざし、実践活動者等を囲み、情報交換・討論等を行いながら、みんなで活動を深めていくゼミナール形式の研修会を毎年開催しています。

今年度は、「社会福祉施設や企業等の社会貢献活動とその専門性を活かした地域の課題解決」というテーマで、地域と社会福祉法人や企業が、お互いの強みを活かしながらどうつながることができるかということ、全3回(9月～11月)の研修で考えます。

シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」②

地域包括ケア時代…  
みんなで力を合わせる地域づくり

私ごとですが、学校卒業後市内の病院で勤務し38年が経ちました。昭和56年の就職でしたが、この頃北九州市の高齢化率はまだ10%に満たない状況でした。これが現在30%近くとなり、この間に一人暮らし高齢者は5倍増、孤独死や60歳以上の自殺者も増加傾向にあります。

そうした中、国の政策として打ち出されたのが「地域包括ケアシステム」、高齢者が要介護状態となっても住み慣れた地域でその人らしい生活を送れるよう地域みんなでサポートするという仕組みです。私なりにこれを「地域に住む皆さんが協力し合い高齢者を孤独にしない社会づくり」と理解しています。

最近こうした取り組みが少しずつ市民に浸透し始めているのか、ここ数年地域の活動が変わってきているように思います。

私が勤務する職場は小倉北区にあります。周辺地域では最近、認知症サポーター研修や健康づくり教室、サロン活動等が積極的に進められています。防犯パトロールや河川清掃などにも多くの皆さんが参加されています。また、住まいは小倉南区ですが、ここでも一人暮らし高齢者への訪問や介護予防教室といった福祉・健康関連活動、さらには町内・駅周辺の清掃活動等も積極的に行われています。

これらの活動をみて以前との違いを感じるの、病院や施設職員いわゆる専門職といった人達、さらに地元

介護老人保健施設「伸寿苑」  
施設長代理(老健部長)

井上 崇さん



企業が参加していることです。その理由として、住民が高齢化し医療や福祉に関連した活動が行なわれ専門的協力が求められること、企業の社会貢献に対する認識が高まっていること等があると思います。実際地域では認知症や転倒骨折さらには栄養等に関することが課題となっています。住民だけでは対応できない専門職の関わりが不可欠となっています。また高齢化により各活動が中止になっていることも少なくありません。町内の餅つきは「つき手」がいない、お祭りは神輿の「担ぎ手」がいない、清掃やパトロールも高齢者だけでは回らない等々…若い力が求められています。

高齢化が進む中、生活する基盤である地域活動は住民同士のコミュニケーションにつながり、これらが高齢者の見守りや防災、防犯等々生活に欠かせないものになっています。

そうした意味では地域の様々な活動は住民生活にとって重要な意味をもち、病院や施設、地元企業と協力しあっていくことが大きな課題となってきます。

地域包括ケア時代…市民全体が地域の出来事に関心をもち、かかわっていくことが期待されています。これからも皆さんで力を合わせていきましょうね。

研修レポート

傾聴ボランティア・フォローアップ研修

平成30年5月16日(水)に開催された「傾聴ボランティア・フォローアップ研修」では、地域で傾聴ボランティアとして活動している27名の方にご参加いただきました。

今回は、「施設のこともっと知りたい」をテーマに介護老人保健施設 伸寿苑の井上崇部長にご講義いただきました。

施設側の思いとボランティアの思いをうまくつなげることができた有意義な研修となりました。

